

科目名 (Eng)		経営情報システム基礎(Basic Administration Information Systems)								
担当教員		米本 清								
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数		分野	形態	学修単位科目		
		コミュニケーション情報 学科	3	通年	必修	2	(60)	専門	B	
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(C-2). (E-2). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2). 5).									
授業の概要と方針		経営情報システムの基礎を意思決定論・統計学の手法と関連付けて学習する。								
到達目標		①データ分析の基礎を学習する。 ②相関に関して理解する。 ③回帰分析の基本的な概念と手法を理解する。 ④意思決定に関わる基礎理論を理解する。								
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容				準備学習			
前期	1	導入	意思決定論・統計学の基礎				e-classを用いて課題を提出する。 次の単元を予習する。			
	2	平均値	各種平均値							
	3	データ分析・モデリング	データ分析・モデリングの基礎							
	4	統計関連のExcel関数(1)	統計処理に用いられるExcel関数の基礎							
	5	統計関連のExcel関数(2)	統計処理に用いられるExcel関数の基礎							
	6	相関係数(1)	相関係数の概念							
	7	相関係数(2)	散布図と相関							
	8	前期中間試験								
	9	相関係数(3)	相関係数の計算法						e-classを用いて課題を提出する。 次の単元を予習する。	
10	相関係数(4)	相関係数の計算法								
11	回帰分析の基礎(1)	回帰分析の概念								
12	回帰分析の基礎(2)	回帰分析の例								
13	単回帰分析(1)	単回帰の手法								
14	単回帰分析(2)	単回帰の結果の解釈								
15	単回帰分析(3)	単回帰分析の実行								
16	重回帰分析(1)	重回帰の手法								
17	重回帰分析(2)	重回帰の結果の解釈								
後期	18	重回帰分析(3)	重回帰分析の実行				放課後等も発表準備を行う			
	19	重回帰分析(4)	重回帰の応用							
	20	発表準備(1)	自ら収集したデータで回帰分析を行う手順							
	21	発表準備(2)	自ら収集したデータで回帰分析を行う手順							
	22	発表準備(3)	自ら収集したデータで回帰分析を行う手順							
	23	後期中間試験								
	24	分析結果の発表(1)	回帰分析の発表方法							
	25	分析結果の発表(2)	回帰分析の発表方法							
	26	Decision Tree(1)	Decision Treeの概念						e-classを用いて課題を提出する。 次の単元を予習する。	
	27	Decision Tree(2)	期待値							
28	Decision Tree(3)	Decision Treeによる意思決定								
29	ゲーム理論(1)	Excelによるゲーム理論の基礎理解								
	30	ゲーム理論(2)	Excelによるゲーム理論の基礎理解							
試験について		中間試験は授業時間中に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。								
評価方法		定期試験の成績70%、小テスト・課題30%で総合的に評価する。								
教科書		『Excelで学ぶ意思決定論』 柏木吉基 (オーム社)								
参考書										
関連科目										
履修上の注意		毎回、授業の理解度を確認するため小テストまたは課題を出す。 後期には自ら決めたテーマで回帰分析を行い、発表する。								